

平成30年度 第4回頸城区地域協議会次第

日時：平成30年6月29日（金）
午後6時30分から
場所：頸城コミュニティプラザ
2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告 事 項

○新潟太陽誘電第二工場3号棟建設工事の現況について・・・・・・・・・・資料1

○次期総合公共交通計画の策定について・・・・・・・・・・資料2

○諮問事項 くびきひよこ園の廃止について（答申・通知）・・・資料3 資料4

○地域活動支援事業の追加応募状況について・・・・・・・・・・資料5

4 協 議 事 項

○自主的審議事項について・・・・・・・・・・資料6 資料7

5 そ の 他

6 閉 会

工事のお知らせ

新潟太陽誘電第二工場 3号棟建設工事の現況について

拝啓 時下益々ご清栄のことと、お慶び申し上げます。

平素は弊社建設工事にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新潟太陽誘電株式会社の3号棟の建設工事に関しまして、下記お知らせさせていただきます。

工事中は何かとご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

① 工事現況

当工事（～12月下旬迄予定）の内、

現在は、杭工事が完了し、今後は建屋工事となります。

これから、大きな工場本体の建設を、多数の工事を同時進行で、完成に向け進めてまいります。

騒音・振動・粉塵には、十分配慮しまして、施工を進めてまいります。

（建物の姿が大方出来てきますのは、10月中頃の予定です）

～5台の杭打機にて杭工事を施工しました～（～5月末）



～杭打工事後の基礎工事～



～現在の工事施工状況です～（全景）



～現在の工事施工状況です～（鉄骨組立）



工事中は、引き続き、安全と環境に十分配慮致しまして、施工を進めてまいります。

② 当工事では、
施工前の、上越市様・ご近隣様とのお約束として、安全と環境への配慮から、工事車両の通行経路を下記地図の通りとさせていただきます。

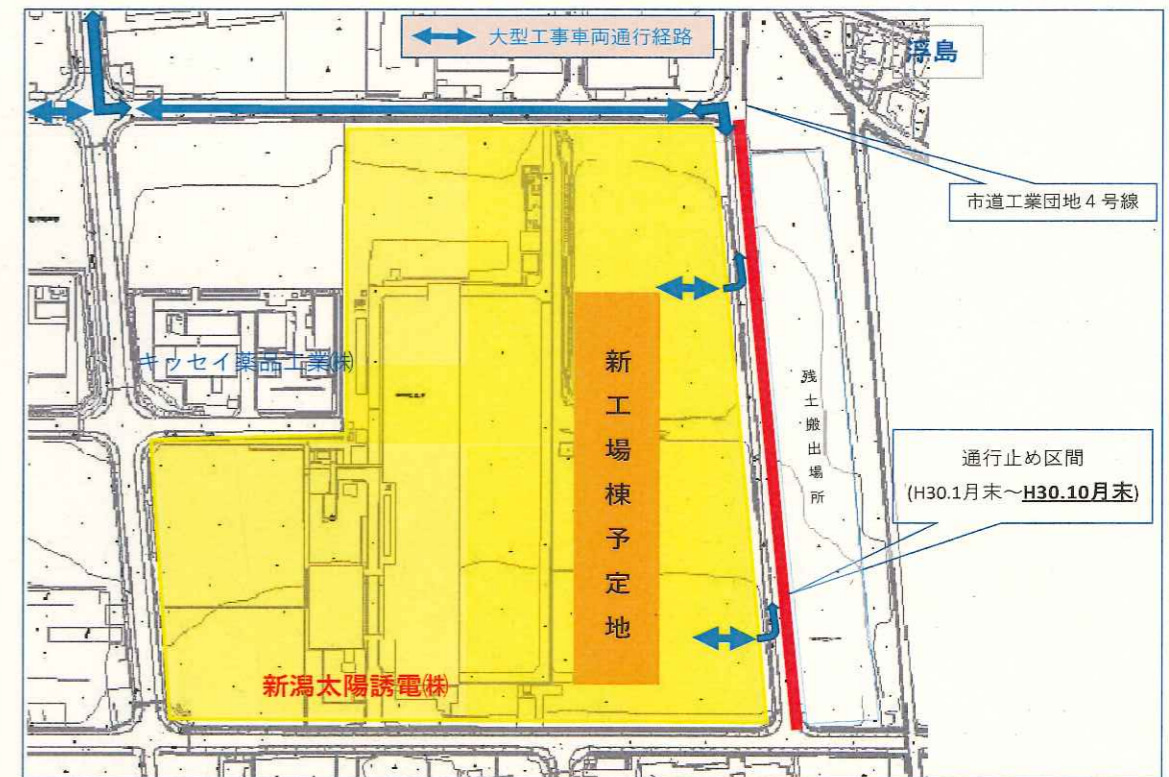
引き続きまして、

工事中の工事車両通行経路につきまして、下記地図の通り、北側道路を迂回する経路にての通行とさせていただきます、安全と環境等に十分に配慮させていただきます、事故の無いよう運行致します。

また、

安全の配慮としまして、工事車両の出入り口となります現場東側道路を、7月末迄の予定で通行止めとさせていただきますが、今後の工事進捗に伴います、工事車両の出入りを鑑み、さらなる安全への配慮としまして、通行止め期間を10月末迄とさせていただきます。

ご近隣の皆様には、引き続き、大変ご不便をお掛け致しますが、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



— 引き続き、工事につきましては、随時、お知らせしてまいります。 —

※正式な工事事務所が開設されております。

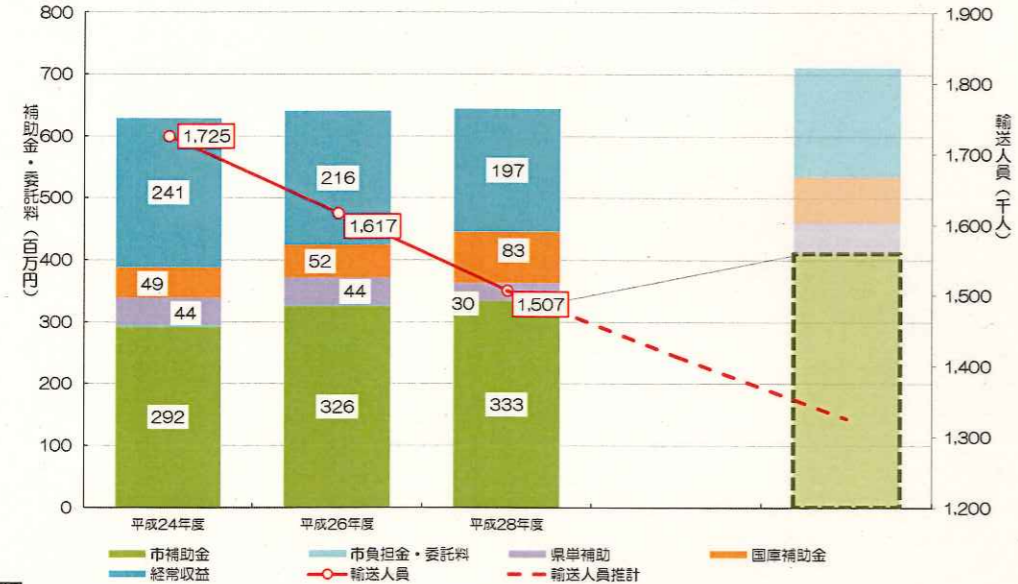
— お問い合わせ先 —
施工者 株式会社大林組
新潟太陽誘電上越工事事務所
担当者 森、永野
電話 025-520-9491

次期総合公共交通計画の策定について

1 計画策定の目的

- ・高齢化の進行や運転免許返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細かな公共交通を求める機運が高まっており、住民の需要を的確に捉え、利用しやすく、「乗ってもらえる」公共交通を再構築する必要がある。
- ・一方、少子化や人口減少、自家用車の普及が進む中、公共交通の利用者は減少傾向にあり、安定的な運行を維持するための市の財政負担は年々増大していることから、将来にわたって持続可能な公共交通を確保する必要がある。

■路線バス輸送人員並びに収入及び補助金の推移



2 計画の概要

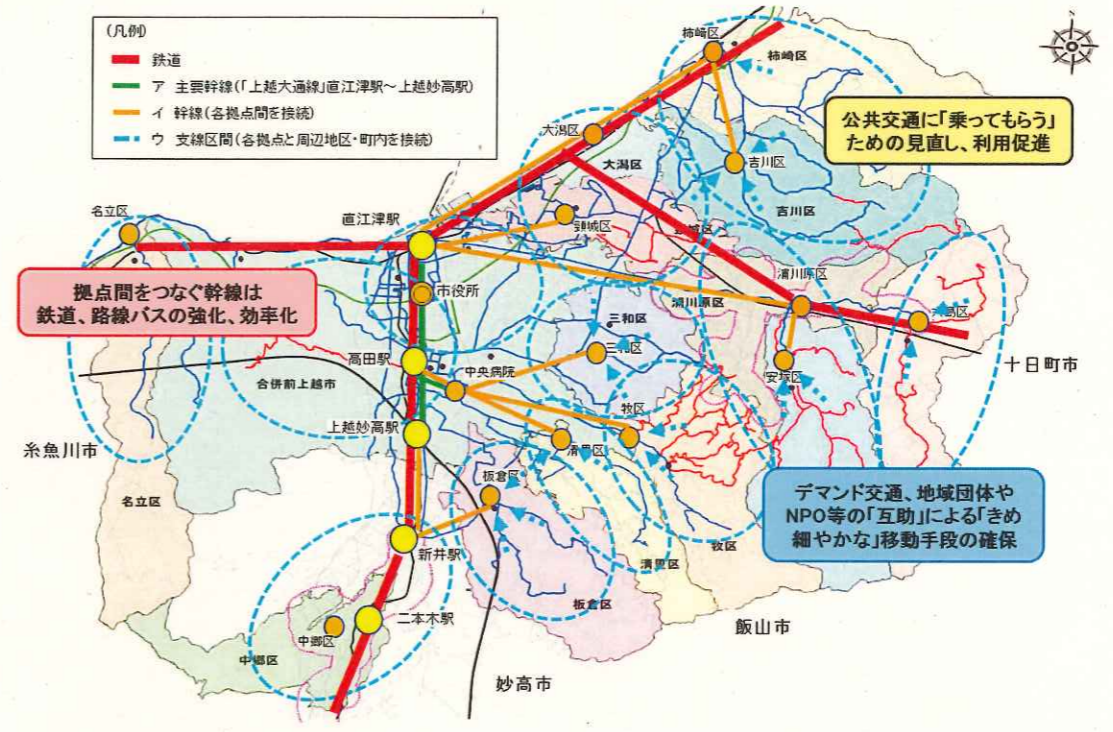
- (1) 計画区域 上越市全域
- (2) 計画期間 中間見直しを含め、平成32年度から8年から10年程度を想定
- (3) 公共交通ネットワークのイメージ

- ・バス路線を、基幹となる「主要幹線」、駅と各区をつなぐ「幹線」、地域内のきめ細やかな移動手段を確保する「支線」に役割分担し、役割に応じた本数、ダイヤ等を設定
- ・従来のバスに限らず、利用頻度や人数などに応じ、より小型の車両による「乗合タクシー」や、地域住民のボランティアによる「互助・自助」による移送など、きめ細かで使いやすく、効率的な運行形態を設定
- ・公共交通の維持が困難となっている現状を共有し、住民の参加による検討

3 策定スケジュール

	市全体の検討	各地域における検討
～H30年 8月	・現行計画の評価、全市的な現状の把握 (市民アンケート、乗降調査等)	・各地域の現状の把握 (懇話会、地域の団体との意見交換等)
～H31年 2月	・地域公共交通網の見直し	・地域の再編案の検討、住民との協議等
3月	・計画の骨子完成	
～11月	・計画案の作成	・各地域の再編案の検討、合意形成
～H32年 2月	・計画案の完成、パブリックコメント	
3月	・計画の策定	

■公共交通ネットワークのイメージ



■支線における運行形態のイメージ

1人当たり利用頻度	利用人数/便				運行形態【市の支援】		運行本数
	多い	少ない	10人以上	4～9人	2～3人	1人	
○		○				定時	多い
	○					デマンド	
○			○			定時	少ない
				○		デマンド	
	○				○	デマンド	

運行形態【市の支援】
 路線バス【運行補助】
 スクール混乗バス【市営】
 乗合タクシー【運行補助】
 自家用有償旅客運送【運行補助】
 互助・自助による移送【車両維持費支援】
 相乗りタクシー【運賃補助 週3回】
 通院・買い物タクシー【運賃補助 週1回】

■移動手段の例

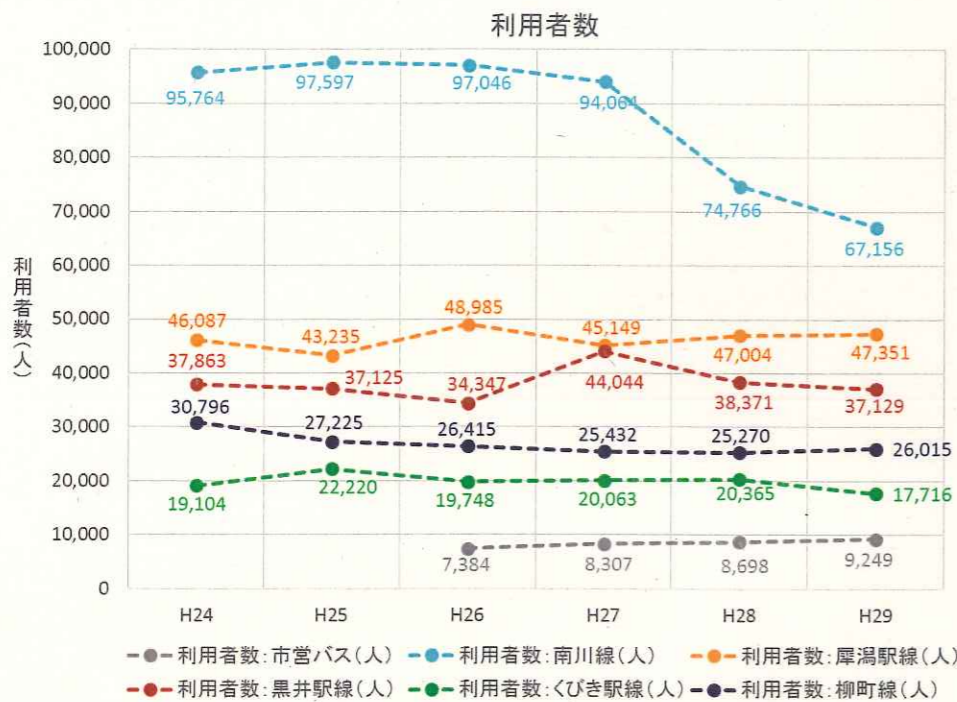
移動手段	内容
スクール混乗バス	・小中学生のスクールバスに、一般利用者也乗車 ※当市5区で運行
乗合タクシー	・タクシーやジャンボタクシーの車両を使用し、バスのように利用者を乗り合いで輸送 ※中郷区で運行
NPO等による輸送	・公共交通がない地域において、NPO法人や町内会等が、白ナンバーの自家用車でバスを運行 ※妙高市、長岡市、魚沼市で事例あり
民間企業等が運営する循環バス	・商店街などがバス会社へ委託などによりバスを運行 ※高松市丸亀町商店街振興組合「まちバス」
互助・自助による輸送	・地域の自治会やNPO法人が、自ら運行ルートやダイヤを決め、地域の助け合いで利用者を輸送 ※新潟市「住民バス」
タクシーの運賃助成	・タクシーの運賃割引を受けることができる利用券を配付(相乗りは割引率が高い) ※前橋市で実施

頸城区の主な路線バスの状況

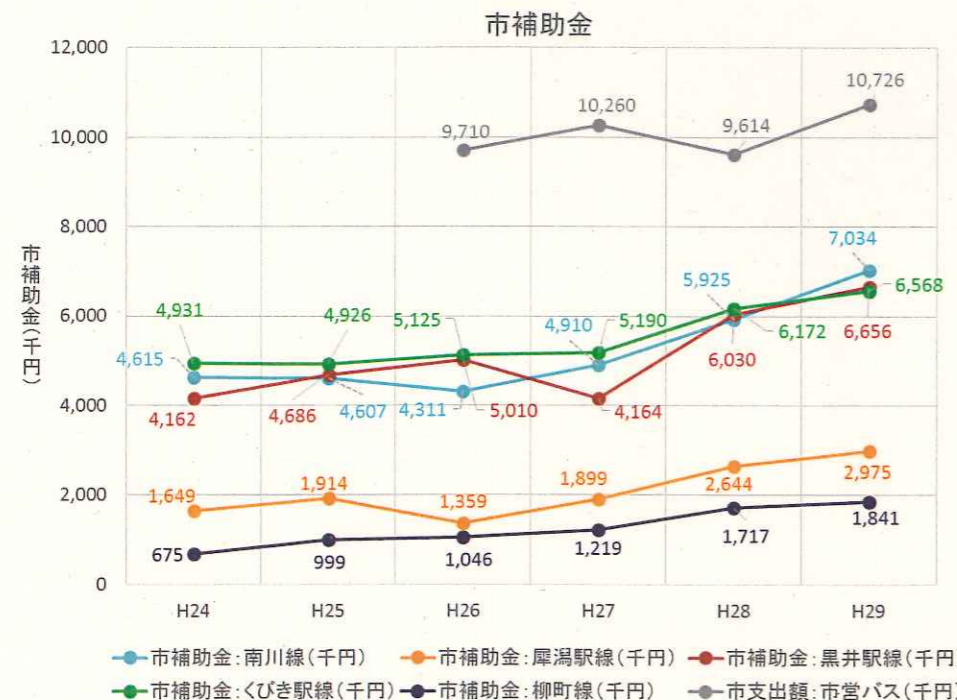
1 路線の概要

路線	運行経路	便数	
		平日	土休日
南川線	労災病院前～市村・島田～海洋センター前	20	10
犀潟駅線	犀潟駅前～城野腰～松橋～舟津～海洋センター前	14	0
黒井駅線	海洋センター前～黒井駅南口～海洋センター前	7	0
くびき駅線	海洋センター前～くびき駅～海洋センター前	7	0
柳町線	海洋センター前～柳町～海洋センター前	6	0
大池線(市営バス)	海洋センター前～大池いこいの森駅～海洋センター前	6	0

2 利用者数と市補助金の推移 ※市営バスはH26以降のデータのみ



※市営バスの利用者数には、小中学生の通学利用を含む。



※市営バスの金額は、スクール混乗便以外のスクールバスの経費を含む。

3 収支状況

	南川線 (平日1日20便)	犀潟駅線 (平日1日14便)	
1便につき、	10.7人	14.0人	が利用しています。
平日1日の運行で、	約2万1千円	約8千円	の赤字が発生しています。
赤字の解消には、1便	約14人	約18人	が新たに利用する必要があります。

	黒井駅線 (平日1日7便)	くびき駅線 (平日1日7便)	
1便につき、	11.0人	10.5人	が利用しています。
平日1日の運行で、	約1万8千円	約2万7千円	の赤字が発生しています。
赤字の解消には、1便	約31人	約50人	が新たに利用する必要があります。

	柳町線 (平日1日6便)	
1便につき、	17.9人	が利用しています。
平日1日の運行で、	約1万円	の赤字が発生しています。
赤字の解消には、1便	約28人	が新たに利用する必要があります。

※当市の市営バスは、全てスクール混乗で運行している。

収支状況

	(千円)						
H29年度	南川線	犀潟駅線	黒井駅線	くびき駅線	柳町線	市営バス	合計
収入	9,911	3,073	3,016	1,385	1,524	9	18,918
支出	23,070	7,006	11,532	7,954	3,943	10,726	64,231
欠損	▲13,159	▲3,934	▲8,516	▲6,569	▲2,419	▲10,717	▲45,313
国県補助金	3,750	958	1,860	0	578	0	7,146
市補助金	7,034	2,975	6,656	6,568	1,841	10,726	35,800
収支率	43.0%	43.9%	26.2%	17.4%	38.7%	0.1%	29.5%

利用者1人当たり収支状況

	(円)						
H29年度	南川線	犀潟駅線	黒井駅線	くびき駅線	柳町線	市営バス	合計
収入	148	65	81	78	59	1	92
支出	344	148	311	449	152	1,160	314
欠損	▲196	▲83	▲229	▲371	▲93	▲1,159	▲221
国県補助金	56	20	50	0	22	0	35
市補助金	105	63	179	371	71	1,160	175

※市営バスの「市補助金」は、スクール混乗便以外のスクールバスの経費を含む市の支出額。「支出」欄と同額を記載



資料No.3

平成30年5月31日

上越市長 村山秀幸様

頸城区地域協議会
会長 井部辰男

くびきひよこ園の廃止について（答申）

平成30年5月10日付け、上保第17286号で諮問のあった諮問第83号：くびきひよこ園の廃止について、適当と認めます。



資料No.4

上保第22696号
平成30年6月18日

頸城区地域協議会
会長 井部辰男様

上越市長 村山秀幸
(健康福祉部 保育課)



くびきひよこ園の廃止について (通知)

平成30年5月31日付けで答申のあった、諮問第83号：くびきひよこ園の廃止について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり、くびきひよこ園を廃止することとし、必要な手続きを進めてまいります。

平成30年度 地域活動支援事業提案のあった事業一覧(追加募集)

No.	日付	事業名	団体名	事業規模(円)	うち補助金額(円)	事業内容	合計補助金額	頸城区予算額	予算との差
追1	6月19日	日根津町内会「健康とコミュニケーションづくり」事業	日根津町内会	88,800	88,000	町内会員の誰もが参加できる「軽スポーツ大会」を開催し、会員の健康とコミュニケーションを図ることで、災害時にみんなで助け合い協力する意識を育てる。	2,441,000	1,219,000	-1,222,000
追2	6月22日	瀧本邸公開・景観整備事業	NPO法人くびきのお宝のこす会	981,568	968,000	国登録有形文化財の指定を受けた瀧本邸の庭園の復旧を目指し、美観を損ねる枝木の伐採などを行い庭園内の美化に努めるとともに、公開を行い見学者を誘致する。			
追3	6月22日	頸城中学校区小中一貫教育啓発事業	明治小学校PTA	416,664	400,000	頸城中学校区の児童・生徒の活動を映像にして公開することで小中一貫教育の紹介・啓発を行うため、テレビモニターやDVDプレーヤー、大判プリンタ等を購入する。			
追4	6月25日	学校へ徒歩通学している町内の通学路(市道)の防犯灯設置事業	青野・北方・五十嵐・宮本町内連合会	706,320	700,000	4町内の通学路に防犯灯を設置し、交通安全やその他の事故と犯罪の防止を図るとともに、子供たちの見守り活動を行う。			
追5	6月25日	坂口記念館を拠点とした「くびきの地力(ちぢから)」活性化推進事業第4弾(継続事業)	特定非営利法人くびき来夢ネット	422,035	285,000	坂口記念館の来場者増加のため、ガーデニング、そば打ち、写真等各種講座の開催、新しい料理メニューの開発などを行う。			
合計				2,615,387	2,441,000				

(平成30年6月2日、於・大池いこいの森ビジターセンター)

大分類	意見・要望等
①ビジターセンターの観光施設としての利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり市民大学に参加している。これからのまちづくりは市だけでなく市民も一緒に参加していく必要がある。 ・今のビジターセンターの催しは自然学習のみとなっている。その他のイベントはあまり聞いたことがない。色んな人から使ってもらうことが大事。それによって客足が伸びていくと感じている。そういう面で、もっと活用してほしい。 ・市には公共施設予約システムというものがインターネットであるが、ビジターセンターはのっていない。そういうものを使って、空いているなら空いていると、広く知らしめる必要がある。 ・頸城区に住んでいる方などが自主的な講座を立ち上げて、講座なりでここを定期的に使ってもらったらいいのではないか。 ・昨年5年生のPTCAでここを使わせてもらった。1泊もした。食事はこの食堂で作り、外で火起こし体験もやらせてもらった。夜はここを出ると自然を見られる場所があり、ぐるっと回ってきて、ホテルが1匹、2匹と見ることができた。子どもたちもここで泊まってすごく喜んでた。すごくいい体験をした。以前は小学校で泊まったこともあったらしいが、ここで泊まってよかった。また、カヌー体験もやっている。小学校3年生が湖畔を船で漕ぎ出すということで、子どもたちも喜んでた。 ・景色も良く、こういうことが手軽にできればいいなと思った反面、事故がないかと心配でもあった。救命胴衣を着ていたの泳いでいる子もいた。それもいい経験になった。 ・40代くらいの親にとっては、ここはキノコ遠足やアスレチックなどで、いい思い出の場所になっているようだ。 ・親としては、お金のかからない遊び場が増えてくれることはありがたい。
②大池第3キャンプ場の駐車場の拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の周辺の土地の所有者について承知しているか。以前は個人の所有だったが、現状は土地改良区の所有と聞いている。そうであれば安く借りて整備が容易にできるのではないか。ぜひとも拡張をお願いしたい。 ・今日の会場は駐車場が狭いので自転車で来た。ただ、駐車場の看板が、「駐車場」としか記載されていない。それぞれの駐車場に記号や番号を記載するとか、他にも駐車場があると知らしめる案内図を付けた方が親切でないか。誰かと待ち合わせるにしても、そうした表示があるとすぐに分かるので、さらに利用しやすい施設になるのではないか。 ・路上駐車されると片側駐車であってもカーブで見えないところがあるので、早急に駐車場を確保してほしい。 ・第1、第2キャンプ場もある。この辺の状況を把握しているか。第3キャンプ場だけでなく、第1、第2のキャンプ場も宣伝して使ってもらえれば、利用者が散らばるので効果があるのでないか。 ・整備も駐車場からできるだけ近いキャンプ場にするか、それが無理で距離が遠いのであれば、駐車場からキャンプ場まで台車やリヤカーを貸してあげるとかしてあげれば使いやすくなるのではないか。
③小池周辺の桜の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・私も桜の手入れには二度ほど参加させてもらったが、日当たりのいい場所はいいが、日当たりの悪いところは残念な状況になっている。特に雪の深い年には小さい木が折れたりしているので、ちゃんと冬囲いをするなり支柱を立ててあげないと可愛そうな木が結構あった。もう少し丁寧に手入れをしていかなければならないと思った。 ・観光協会が去年、一昨年とボランティアを募って、延べ60人くらいで桜の手入れをしたが、何分広い範囲なものでまだまだ手入れが仕切れないという状況にある。地域の方も含めて、手入れは人数が多ければ多いほどきれいになるし、桜の方も去年、一昨年に比べれば随分進んでいるが、やっぱり頭数が必要と思う。地元の町内会の方々の協力も得て続けていければ、今後もっとよくなっていくと思う。雪の問題も先ほど出たが、手入れを続けていかなければ、だんだん傷んでいってしまうと思うので、できれば今後も大勢の方に参加してもらって手入れを続けていきたいと思う。
④大池・小池の釣り、並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ釣りを解禁してほしい。 ・特にキャンプ場は、あれだけの設備あってトイレがあって水も出るわけだから有料化にしていくべきと思う。それで、もっと整備をしていくべき。いずれにしても、お金がかかることでもあるので有料化していくべきだと思う。安くてもいいので有料化してほしいし、ゴミ問題も意識改革してほしい。 ・ゴミはどんなに周知してもマナーが悪い人は置いて行ってしまう。森本町内のゴミ集積所に置いて行ってしまう人もいた。管理事務所を設置し、利用者にゴミ処理を徹底してほしい。 ・ゴミ問題は全国的な問題らしく、キャンプ用品を全部業者が用意し、業者がすべて片付けるのも流行っているらし。そういう業者を活用するのどうか。 ・ぜひキャンプ場の有料化を地域協議会として要請してほしい。この3月まで石神町内で大池キャンプ場の施設管理を任されていた。週3回、月・水・金とトイレ掃除、第1から第4まで4か所ある。4か所、週3回、月12回掃除をして、費用は確か25千円前後しかももらえない実態である。そういうボランティア的な作業で本当に施設が、例えばトイレが本当にきれいになるのかならないのか。ただ単に片手間で作業をするのではなくして、それなりに来てもらう方にも喜んで使ってもらえるようにするにはそれなりのコストがかかるので、有料化してそうした面を充実していくべきだと思う。 ・PTAは使う回数も多いので、もし有料化するのであれば地域の人は安くなるよう減免や割引きをしてほしい。
⑤大正山の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、ここ大池で植物研修会をしている。大池周辺は縄文時代から人とかかわった歴史があり、いわゆる里山と呼ばれる地域である。里山は近年見直されてきている。今週末第1キャンプ場から大正山へ登るところの三叉路まで行って来たが、その途中までは実に色々な野草を観察するポイントがたくさんあって、ちょうどササユリも咲いていた。花も1つとかじゃなくて2輪とか3輪とか4つもつけているような状況、しかもそれが群がっているところもあって、ああいう自然は大事にして守っていかなければならないと思った。 ・第1キャンプ場に入ると右側が杉林になっているが、あれは里山の時代が終わり、人が手を付けられなくなってきたときに、それに代わるものとして杉が植林された名残りかと思う。あの辺りの木が概ね均等な太さであることを見ると、同じくらいの時期に植林されたのだろうと思うが、下草の長さを見ると手入れがされてこなかったのだろうと思う。しかし、このまま放っておくと杉にとっても良くないし、観光面とか景観とかを考えると何とかならないものか考える。 ・子どもたちにもその辺のところを教育していくことも大事だと思うので、里山の素晴らしさを伝えるような取り組みをこれからもしていきたいと考えている。 ・大正山の正の字は昭和の昭である。大正と昭和の終わりと始まりの足かけ約3年くらいをかけて隣の山の土を土盛りをして大昭山の展望広場を約103年前くらいにつくった。大正の終わりから昭和の始めということから大昭山という名前となっていることをご承知置き願いたい。 ・先ほどPTAの方から一部割引きの制度の要望が出たり、小池周辺の桜の整備のときにはなかなか労力がかかって大変なんだという話もあった。それを組み合わせて考えていたらちょっとしたアイデアが浮かんだ。大正山周辺の整備も含めてだが、皆さんボランティアで参加しませんかと広く呼びかけて、ボランティアで参加してくれた方にビジターセンターとかキャンプ場の割引券、無料券を差し上げる。その無料券は他の人に差し上げてもいいですよ、ただし有効期限はこれだけですよというような形で、どんどんボランティアを募りながら、同時に宣伝も兼ねてやっていくという方法もあるのではないかと思う。

自主的審議事項「大池・小池の観光資源としての利活用について」にかかる意見交換会・意見集約表

大分類	意見・要望等
⑥雁金城跡周辺の整備	<p>・120もの支城があると書かれている。しかし、県の観光パンフレットに出城が並んでいるが、そこには雁金城跡が入っていない。雁金城はそこに入れてもらえないような城なのか。何とか雁金城跡を入れてもらえないものか。</p> <p>・③、⑤、⑥は自然が相手。最終的にボランティアが必要となる。今あるような組織の中で、一緒にボランティアを募って整備ができるようなやり方も皆さんで討議していく必要があるのではないかと。何十年と続けていかなければならない話になると思うので、ぜひ、これはそのような形になるよう、いろいろ知恵を貸してもらえればと思う。</p> <p>・先ほどキャンプ場の有料化という話もあったが、逆に言えば有料化してこれだけの人数が今後来るのかという問題もあると思う。確かに有料化すればお金が若干入るかも知れないが、そういうこともよく考えて進めていかなければならないのではないかと。思う。</p> <p>・ビジターセンターに寄って許可書を出して、帰りに許可書を返すときにゴミ問題等を確認して帰す。あるいはゴミの集積所を設けて、そこに入れさせるということを考えていかないといけない。</p> <p>・無料だからお客さんがくるのだと思うので、その辺をしっかりと考えていかないといけないと思う。有料化したためにお客さんが減少することもあり得ると思うので、よく考えていかなければならない。</p> <p>・有料化ということ先ほども言われていたが、周りでは無料だから怪しいんじゃない？という声も聞いたことがある。周りの市場の価格などを確認しながら決めていただけたらいいのではないかと。</p>
全体を通して	<p>・私もボランティアで色々なことを推進していくことは大賛成である。しかし、私は⑥に10年携わっているが会員が増えず、結果的には平均年齢が10歳増えた。ボランティアではできかねる危険な箇所が何箇所もある。なので、今後の大池の全体の整備を含めてもボランティアでできる場所はボランティアで、安全面で無理なところは市に要望してプロから整備してもらおうという進め方が大事だと考えている。地元では限界があることと、完全、安心にかなりの重さが置かれている時代。整備を進めて集客をしていく中で怪我をされるようなことがあれば、結果的には管理者側の責任となることも含めて、方向としてはそういう形で進めていくべきだと考える。</p> <p>・大池、小池は小学校の子どもたちの学びの宝庫となっている。遠足に行ったり、自然観察に行ったり、カヌー体験をしたりといったことで大変貴重な資源となっている。そういったものが、皆さんの話し合いのなかで整備されていくことは大変嬉しく思っている。子どもを連れていく立場として、やはりトイレとか水がきれいだということはとても大事なことです。きれいでないと人はどうしても来ない。いい風景でも、トイレががっかりという観光地もたくさんある。なので、その辺を十分にしていきたい。</p> <p>・子どもたちを連れていくときに、蜂が出たとか、熊が出たとかということがあると、とても連れて行きづらくなる。そういうところも、人が来るためには注意していただけるとありがたい。</p> <p>・色々な資源があるので、新しく来た職員も分かるように大池、小池を紹介するパンフレットなどを作成し、情報発信してほしい。</p> <p>・午前中、現地を視察し⑤の現状の書き換えが必要と感じた。</p> <p>・地元を中心としたボランティアを、時間をかけながら一本化していく必要があるのではないかと。そうしないと、市にお金、お金といって要望しても、地元はどうなっているのかとなる。ぜひ、そういう形でこれから我々も発信していくし、地元の皆様方のご理解とご協力を賜りたい。</p> <p>・②について、あの辺りの土地を色々な業者が土地を買ってあさっている。市としてはこういう席ばかりでなく、周辺の駐車場の土地を借りるにあたり、ささっと行動に移してほしい。</p> <p>・頸城区には、自然は十分に立派なものがあるし、泊まる場所はキャンプ場もあるしこのビジターセンターもあるが、残念ながら食べる場所がないというのが一つの問題だと思っている。その辺について、どなたか意見や提案はないか。</p> <p>・駅周辺整備で芝桜を整備している。駅から客が降りてきて、この辺に食事をする所がないかと聞かれるケースが多いため、先からの話にもあるように、色々な意味でのPRと食事とトイレが非常に重要なのではないかと考えている。今ほど食事の件を言っていたが、私も常日ごろからそう思っていたのでぜひこれも検討していただきたい。</p> <p>・今ほど食事の件が出たが、レストラン大池の跡地を〇〇が買って、何か憩いの場とか何かそういった施設をつくるという話を聞いた。そのなかで、汚物とか排水の便が行き届いていないと困っているという話も聞いた。ということは、食堂とか何かをつくらうとしても、排水の整備がされていないと事業所で何かやろうとしても非常に難しい問題が出て、なかなか難しいのではないかと。</p> <p>・この大池のキャンプ場とセットで、雁金城の跡地に上がると日本海も春日山城も見えるというパンフレットをつくって、大きく宣伝されたら来られる方も見方を変えるのではないかと感じた。</p> <p>・雁金城の件で先ほども話があったが、今は虎ロープでやっているが、崖っぶちのところがあり、素人ではなかなかできない箇所がある。我々の力だけではきちとしたものをつくれないう現状もあるので、その辺もよろしくお願ひしたい。</p>
終わりに	<p>【井部会長】 今日いただいた意見を地域協議会でもう一度取りまとめて市に届けていきたい。いずれにしても、大池、小池を維持管理していくためには地元の明治地区の皆さんの助けが必要である。どんな形で大池、小池を活用していくか、どんな形で皆さんからご協力いただくかはこれから検討していきたい。本日はお忙しいなかお集まりいただき、たくさんの貴重なご意見をいただいた。これを今後の地域協議会のなかで生かしていきたいと考えている。これからも皆さんからの色々なご意見をお願いしたい。本日の出席に感謝申し上げます。</p>

大分類		現状 (何が、どうで)	課題 (こんな問題がある)	解決策案 (だからこんなことができないか) (自分たちに何かできないか)
①	ビジターセンターの観光施設としての利用促進	大池には平成7年に「農業農村活性化農業構造改善事業」を活用して整備した「大池いこいの森ビジターセンター」がある。	自然学習、青少年教育等に特化した利用となっており、大池・小池を観光資源としてとらえた利活用ができていない。	次期指定管理委託に際し、大池・小池を地域の宝として活用すべく、観光という観点も取り入れた施設の管理となるよう運営を見直していく必要がある。 また、風呂の改修や冬期休館の廃止も含め、年間を通じてだれが訪れても対応できる宿泊施設とすべきである。
②	大池第3キャンプ場の駐車場の拡張	大池第3キャンプ場の向かいには、約20台を収容する駐車場がある。	年間3,000人を超えるキャンプ場利用者がある現状にあり、駐車場が圧倒的に不足している。	利用者、交流人口の増加による地域活性化という観点からも、キャンプ場がより使いやすい施設となるよう周囲の自然環境に配慮した駐車場の拡張が必要である。
③	小池周辺の桜の整備	記念植樹も含め、小池周辺には市内でも有数な数の八重桜が植栽されている。	桜の手入れが行き届いておらず、その魅力をPRし切れていないばかりか、枯れたり、枝折れした桜も多く散策にも危険を及ぼしている。	市内でも有数な桜の名所として小池の魅力をアピールできるよう、適切な桜の維持管理を行っていかなければならない。
④	大池・小池の釣り、並びにキャンプ場利用の有料化と管理事務所の設置	大池・小池は釣りが禁止されているが、ブラックバス釣りははじめとした釣りが後を絶たない。また、キャンプ場の利用も無料となっている。	一部のマナーの悪い釣り人やキャンプ場利用者によりゴミが散乱する等、環境が侵されるケースが散見される。	大池・小池での釣りの解禁やキャンプ場の在り方の検討も必要である。管理事務所を設置し、施設管理の一元化を進め、すばらしい自然環境の維持に努めていくべきである。
⑤	大正山の整備	大池の隣地には大池いこいの森整備事業などで整備された大正山がある。	散策路やトイレ、案内看板など一部において整備がなされたもののその後の管理が行き届いておらず、散策も困難なような現状にある。	かつて旧村時代に観光レクリエーションゾーンと位置づけてきた東部地区開発や大池いこいの森整備事業の趣意に則り、大正山も計画的な整備を行っていく必要がある。
⑥	雁金城跡周辺の整備	頸城区には上記大正山に隣接して、上杉謙信が本城（ほんじょう）である春日山城を守るために置いた大小約120の支城（しじょう）郡の一つで、春日山城に狼煙を使って連絡をする最後の拠点であったとされる雁金城跡がある。またこれは、花ヶ崎街道を監視する要所にあり、敵の侵入を防ぐ上でも重要な城であったとされている。	雁金城跡には本丸、二の郭（にのかく）、空堀（からぼり）、土塁（どるい）の跡などが残っており、雁金城跡保存会などが地域活動支援事業等を活用して階段の整備やベンチの設置といった施設整備のほか、パンフレットの設置や狼煙上げの実施などの情報発信も行っているが、施設整備、知名度の向上とともに地域の取り組みだけでは限界がある。	頸城区の財産である雁金城跡により多くの方から安全に訪れていただくとともに、市内外への情報発信、並びに大池・小池の整備と一体となった施設整備を行っていかなければならない。